

芳川地域づくり協力隊 活動報告

芳川いきいきプロジェクト × 野溝ほうきプロジェクト

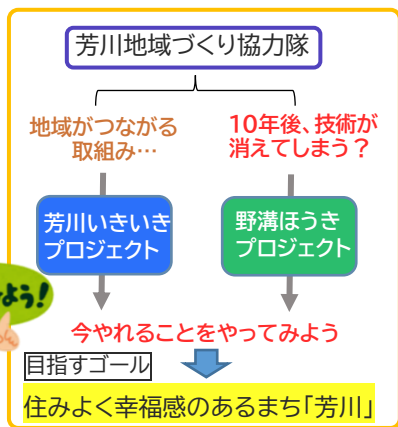
発行 芳川地域づくり協力隊
事務局：芳川地区地域づくり
センター
Tel.(0263)58-2034



芳川地区は令和3年度から地域づくりセンター体制の強化を図るモデル地区となりました。人口が増加し、住みやすく便利なまち「芳川」。都市化が進む一方で、地域の一体感や近隣関係の希薄化、若い世代や新しい住民が参画しやすくなる仕組みづくりが課題としてあげられました。

そこで、地区住民・学生、市内大学生らが集まり課題解決に向けた話し合いをスタート。地域づくり協力隊の元で2つのプロジェクトが始動しました。

今回は活動の様子をプロジェクトメンバーからご報告します。



芳川いきいきプロジェクト

芳川地区イメージキャラクター
シカセギン



★家族紹介カード ▶▶ご近所づきあいをスムーズにするツールとして考案

ご近所同士がお互いの家族をもっと知り、親しくなるキッカケを作りたい、そんな思いから「家族紹介カード」を作成しました。これは自身の家族を近隣の方々に紹介するためのカードであり、芳川地域づくりセンターに置かせていただいています。このカードの利用により、ご近所同士での挨拶や交流のキッカケになれば幸いです。

◆信州大学 関流星



★フォトコンテスト in 芳川 ▶▶芳川地区の魅力を再発見して共有しよう！

芳川フォトコンテストはコロナ課で住民の交流がなくなってしまった状況を考えて、間接的に交流できる企画として考えました。芳川の魅力を住民が共有することで新たな芳川の魅力を発見することができるようになりました。

◆信州大学 廣村壮吾



★Instagram YOSHIKAWA CHARME ▶▶芳川地区の魅力を発信中！ & 初心者向けインスタ講座 ▶▶メンバーもインスタ投稿で芳川を発信しよう！



参加しました身近で素敵なインスタを投稿している方がいて、自分もぜひやってみたいと思いインスタ講座に参加しました。インスタグラムの基本的な使い方や、映える写真の撮り方の工夫など分かりやすく教えて頂きました。まだまだ活用できていませんが、芳川地区の素敵な写真を投稿して魅力を発信することができたらと思っています。

◆芳川地区 伊藤ともみ

★eスポーツ大会 ▶▶子ども達と楽しく交流しよう



昨年の8月に開催されたeスポーツ大会に参加しました。遊んだゲームの操作があまり得意でなかった私に子どもたちは、優しく丁寧に詳しく操作方法を教えてくださいました。そして大会の最初はあまり話さなかった子ども達もだんだんと周りの子ども達と話すようになっていて大会の開催には意味があったのかなあと感じました。ぜひ次の大会にも参加したいと思います。

◆信州大学 三原匠



★高校生主催クリスマス会 ▶▶ビンゴ大会で高校生と交流しよう

司会進行や計画など直前まで不安なことばかりでしたが、参加してくれた小学生の明るくて元気な姿を見て安心し、それに終始助けられた気がします。

コロナ禍での開催とはなりましたが、事故もなく楽しいクリスマス会となり、地域活性化に少しは貢献できたのかなと思いました。改めてこのような良いイベントを開催できたこと、とても嬉しく思います。

◆松本国際高校 鈴木滉央



★芳川まるっと青空市 ▶気軽に参加でき、交流できるイベントを！



小屋公園 2022.9.4

今年度の芳川地区の活動で印象に残っているのは2回目の「芳川まるっと青空市」です。開催されたのは9月で前回の開催は1年前の11月だったため、まずは第2回が開催されてとても嬉しかったです。私たちはそこで来場者に対して、けん玉チャレンジを行いました。子どもだけでなく、大人も楽しく参加している様子が見られ、みなさんがとても楽しそうでした。



コロナ禍で人が集まる機会が減っている中、様々な世代の方々が公園に集まって楽しそうにしている様子を見ることができてとても良かったです。青空市を通してさらに、地域の人々のつながりを作っていけたら良いと思います。

◆信州大学 松浦結奈



青空市の1コマ

青空市には、毎回たくさんの方がお越しくださいます。就学前のお子さんにも楽しんでもらえる企画を用意しており、小学生は友だちと一緒に遊びに来てくれます。リピーターの方もいらっしゃるの嬉しい事です。

ある時には、お母さんがお一人で、複数の幼いお子さんを連れて来場される姿がありました。我が家も多子世帯なので、複数の子どもを連れて出歩く大変さがわかります。青空市の中でお子さんが楽しめたり、ほんのわずかな時間でも、お母さんの気持ちがほっとしたり和める場となることを願いながら案内をしました。

地域だから参加しやすい、近くだから歩いて行かれる、お友だちに会える場所、焼き芋を食べたい…と、青空市ならではの楽しみ方や繋がりがあります。

お店の方も、素敵なこだわりのある品物を並べて盛り上げてくださっています。芳川地区の繋がりがひろがって、住んでよかったと思えたり助け合える繋がりになったら嬉しいです。

◆芳川地区 守屋千春



青空市をきっかけに…

芳川まるっと青空市の記念すべき第1回目、私は母の手伝いとして参加しました。私よりも年下の子たちがワクワクした表情で商品を買いに来てくれました。

それが嬉しく、プロジェクトメンバーに加えていただきました。

2度目、3度目の青空市でも、けん玉・輪投げを通して地域の方と関わることができました。

メンバーの皆さんと共に『地域づくり』の活動を創って盛り

上げていくことで、私が地域のことを考えるきっかけとなりました。



◆ 筑摩野中学校 守屋朋花



「コロナ禍で小学校のバザーが行われていないから、作品を売る機会がないでしょう。」と芳川地域づくり協力隊の方にお声がけいただき、芳川児童育成クラブ（学童）で出品する機会をいただきました。

学童では小学校のバザーに向けて、毎年子ども達が刺し子やキーホルダーやミサンガなどを作成しています。1年生は慣れない作業をゆっくりと。高学年にもなると上手に作り上げることができるようになります。青空市では、「上手に作ったね。」とか、刺し子のちょっと曲

がった縫い目にも「味があって素敵だよ。」と、褒めに褒めていただき、子ども達は終始ニコニコでした。「私も学童で作ったよ。」「うちの子も学童に通っていたよ。」と懐かしがる方もいました。クラスのお友達に会ったり、ゲームをしたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。地元での楽しい時間が、子ども達の郷土愛に繋がるのかな、と思います。

◆芳川地区 西村朋子



私は11月27日に、村井町第一公民館で開催された青空市に参加しました。

焼き芋の整理券配布を主に担当しましたが、焼き芋を楽しみにお越しくださる方も多く、小学生が友達で集まって、一緒に焼き芋を食べている様子が印象的でした。運営側として楽しみながら実施できました。

◆松本大学 工藤太陽



★学校での活動発表 ▶次世代が地域を知る機会として



2022年7月芳川小学校6年3組の先生から、地域づくり協力隊の活動について話してもらいたいとの要望があり、7月11日に児童の前で話す機会をいただきました。教員免許を持っていない私からしたら、児童の前で話すという貴重な機会に緊張と楽しみとが入り混じった状態でしたが、子どもたちの一生懸命な眼差しと、反応が素晴らしく、いつの間にか緊張は無くなっていました。

さて、きっかけは「地域で素晴らしい活動をしているのに知らない人が多く、児童も今回の機会に興味を持って地域活動に参加できたら良いのでは？」という先生のお言葉でした。手探りで始まった芳川いきいきプロジェクトでしたが、参加している一般、大学生、高校生を中心に意見を出し合い活動をした、芳川まるっと青空市や家族紹介カードの話をしたり、芳川とはどんな地域でどんな街なのか？人口は？お店は？4年生で勉強をした四ヶ堰について等、話しながら質問・クイズ形式で進めていきましたが、一生懸命聞いてくれました。また、2022年12月まで開催していた芳川フォトコンテストについて、「芳川のきれいな景色やおいしいお店等、是非フォトコンテストに参加してほしい」と

お願いすると、「参加したい！」という声を沢山いただき、学校側も快諾をしてくれ、多くの児童が参加してくれました。

今回の授業をきっかけに、芳川という地域を盛り上げよう！イベントに参加しよう！という児童が一人でも多く育ち、誰もが住みよい街になっていくことを期待せずにはられない授業となりました。 ◆芳川地区 橋詰孝



★シニアスマホ講座

▶シニアの皆さんに操作方法を

★インスタ映えする公園に

▶巾下益々美化委員会 HHL さんとの協働によりバラを植樹



★活動に向けて

芳川地区は松本市南部において最も発展著しい地区です。ただその為の課題も多く、地区としてのまとまりに欠ける部分もあります。そこで若い世代の新鮮な意見を取り上げ、地域づくりに活かしていく為の地域づくり協力隊を立ち上げ、様々なプロジェクトを通して、住みよい活気のある芳川にしていこうと活動しています。是非大勢の皆さんに参加していただきたいと思います。

◆ 地域づくり協力隊 隊長 赤羽清栄



野溝ほうきプロジェクト

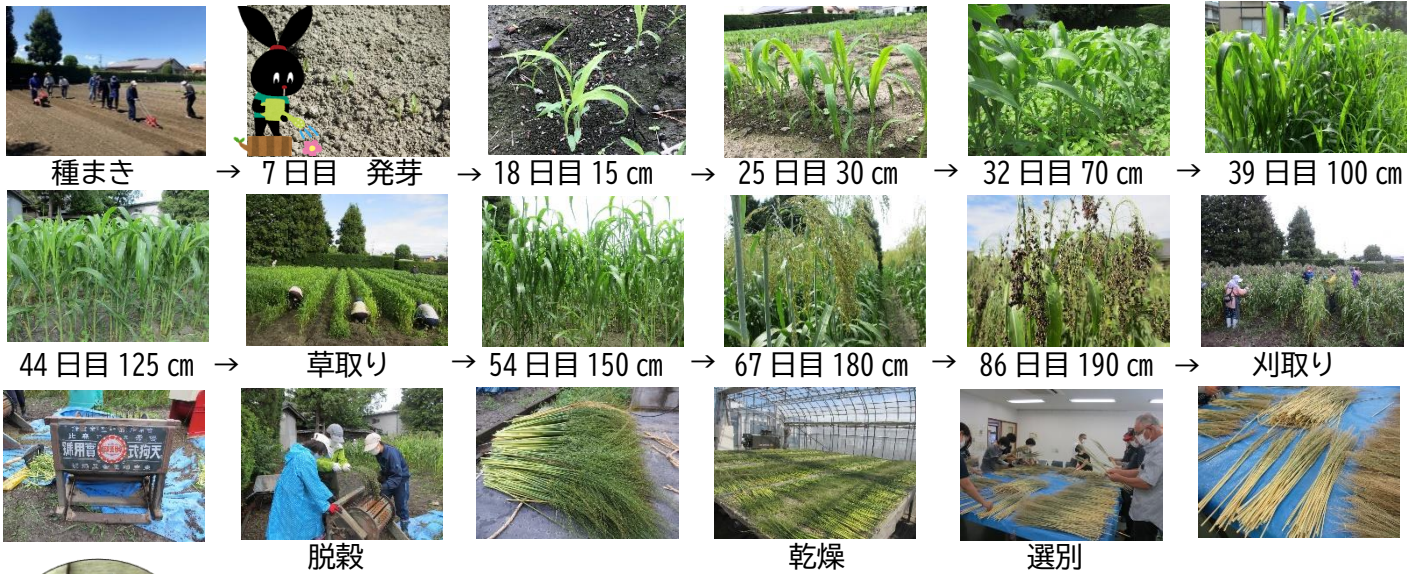
芳川地区特に野溝では、江戸時代の末期から農家の副業として、ほうきが作られるようになりました。最盛期には10万から12万本のほうきが生産されていましたが、生活環境の変化や人手不足により生産量が減少し、今では作れる人がごくわずかとなっています。このままでは

「野溝ほうき」の技術や伝統が失われてしまうと危惧する声
が地域からあがったことをきっかけに、思いのあるメンバー
が集まり活動が始まりました。今年度は材料となるホウキモ
ロシの栽培からほうき作りまで、全員で取り組みました。



○技術の継承と後継者育成 ○地域資源の活用と「箒」を核にした地域づくり を目標としています

★材料栽培（ホウキモロシ）



種まき

→ 7日目 発芽

→ 18日目 15cm

→ 25日目 30cm

→ 32日目 70cm

→ 39日目 100cm

44日目 125cm

→ 草取り

→ 54日目 150cm

→ 67日目 180cm

→ 86日目 190cm

→ 刈取り

脱穀

乾燥

選別

▶▶プロジェクトメンバーが協力することで、楽しく栽培、負担も軽減

▶▶刈取り後の材料乾燥に、JA松本ハイランド芳川支所のご協力でビニールハウスを借用

★道具集め（ほうき作業台）



▶▶回覧での呼びかけに、作業台4台
寄贈いただく

▶▶野溝諏訪社で伐採
されたケヤキを再
利用し、作業台9
台制作



★松本大学 浅野真佑璃さんの
の協力でロゴが完成

★筑摩野中学校との連携

- ▶▶草取り・刈取り作業
- ▶▶作業台固定板の制作
- ▶▶荒神ぼうき指導

★芳川小学校ほうきの歴史授業参加

★メンバーによるほうき講習会



▶▶手ぼうき
講習会
11回
荒神ぼう
き講習会
4回



★松本市立博物館 ウインドギャラリーに野溝ほうき展示中！ / 令和5年度特別展「まつもと博覧会」展示予定
令和5年10月7日(土)~12月10日(日)